２０２５年　２月　２日 ≪ 誕 生 祝 福 式 ≫

主 日 礼 拝　午前８時半 ／ １０時半 ／ 夜７時

司　　会　　石井　秀人兄
奏　　楽
祈　　祷　　白川　達男兄
賛　　美　　聖歌４４２番「罪の深みにおぼるる我」
～ほめよイエスの御名を／聖霊様あなたを求めます～
平和の祈り
聖書朗読　　ローマ人への手紙２章４～１１節
特別賛美　　「You Raise Me Up」ソウルマティックス
メッセージ　「ゆるしの世界の幕開け」
石井　潤　牧師

献　　金　　聖歌５７８番「主の愛のなが内に」
賛　　美　　～たたえよ大いなる主を～〔献金：政枝姉・千鶴子姉〕
祝　　祷
お知らせ　　〔司会者〕
賛　　美　　～明るく・元気で・のびのびと～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆

《今週のお知らせ》

☆本日の午後は聖書の学び会が行われます。Ⅱペテロ１章。担当は寺澤千鶴子姉。
★今週の祈り会は、①明朝６時。②木曜午前１０時半/夜７時半。③土曜夜８時。
☆来週日曜礼拝では聖餐式が行われます。（司会：白川兄／祈祷：寺澤政枝姉、献金当番：渡辺久美子姉・和田啓子姉）。午後は執事会が行われます。
≪予告≫　２０（木）：大手家庭集会　　２３（日）：聖歌隊の練習

☆★一年に一回聖書を完読できる！*Bible Reading Plan*〔2/2－/9〕☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	マタイ 22/出エジプト記 22-23	22/24-26	23/27-28	23/29-30	24/31-32	24/33-34	25/35-36	25/37-39
チェック	○/○○	○/○○○	○/○○	○/○○	○/○○	○/○○	○/○○	○/○○○

「ゆるしの世界の幕開け」

～一方的な神さまの恵みの世界～

「主の御霊がわたしに宿っている。貧しい人々に福音を宣べ伝えさせるために、わたしを聖別してくださったからである。主はわたしをつかわして、囚人が解放され、盲人の目が開かれることを告げ知らせ、打ちひしがれている者に自由を得させ、主のめぐみの年を告げ知らせるのである。」　　ルカによる福音書４章１８～１９節

この言葉は、イザヤ書の言葉ですが、イエス様が宣教を始めるにあたり、人々の前でご自分の使命を宣言された内容として、朗読された聖書のことばです。本来イザヤ書では、「主の恵みの年」という言葉の次に「神の報復の日」という表現が付け加えられていました。しかし、イエス様はその言葉の前で文章を止められて、この恵みの年がやってきた。そして、それは神の報復ではなく、神の赦しの宣言として、自分自身を通して、その世界が実現したのだ！とご宣言されました。

この言葉は、もともとは、イスラエルを苦しめていた異邦人の力に対して、全能なる神様の報復がなされて、神の民イスラエルに回復と解放が与えられることとして受け止められていましたが、最終的に、イエス様が語りたかったことは、全人類が罪によって神の裁きの対象であったにも関わらず、御子イエス様がその裁きのすべてをその身に受けて下さって、その血の代価によって、お命によって、全人類の罪が帳消しにされて、神の裁きを受ける必要がなくなり、赦されたことを語りたかったということです。

今朝のローマ書２章でパウロは「ああ、すべて人をさばく者よ。あなたには弁解の余地がない。」と語り、１章の「彼ら」から「あなた」という二人称というさらに強い表現に変えて、ローマ書を読んでいるローマの信徒たちに直接語りかけています。読んでいる人にとってはもうこれ以上読みたくないような文面になっています。しかし、パウロがここで伝えたかったことは、「私たちすべては神さまに赦された存在なのだから、お互いの罪をつつき合うのではなく、自らを低くして、赦し合いなさい」という内容です。主イエス様が「恵みの時代」を私たちに対して開いてくださったのですから、その恵み、十字架の犠牲の愛を無駄にすることなく、罪を指摘し合うのではなく、赦し合うことを徹底的にしなければならない。

ユダヤ人にとっては勿論罪を指摘できる「ものさし」でもある「律法」がありましたから、その「ものさし」に当てはめて、人を罪に定めることはできます。しかし、その律法はすべての人を罪人として定めてしまうものですから、その裁きを下すことのできる存在は神以外にいなくなってしまう。しかし、その神ご自身がイエス様を通して、人類を裁かずに、赦す道を開かれましたから、私たち自身も、決して人を裁くのではなく、赦し続けなければならないことをパウロは語りたかった。心から神の御心を受けとめて、聖霊様のお心に従う者こそ、真のユダヤ人であるということなのだ！とパウロは２章を結論付けています。この時代に生きる神の民である私たちも、主によって赦された存在として、人々の罪を赦して解放する存在とさせていただきましょう！